



2023  
議会だより

# よしか

第65号



みずのと う

## 今年ほ癸卯年



# ホップ、ステップ、 ジャンプ!!



▶年頭あいさつ・第4回定例会 . . . . . 2	▶議会へのご意見 . . . . . 7～8
▶主な事業・主な質疑・討論 . . . . . 3	▶一般質問 . . . . . 9～11
▶主な質疑・討論 . . . . . 4	▶一般質問・発議等 . . . . . 12
▶全員協議会・臨時会 . . . . . 5	▶議員研修会 . . . . . 13
▶議案の議決結果表 . . . . . 6	▶委員会視察・編集後記・表紙写真 . . 14

# 年頭のあいさつ

町議会議長

安永友行



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、穏やかな新しき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が起こり、今なお止むことなく混迷を深めるばかりです。

予期せぬ今回の争いは、エネルギー危機を生み、物価高を招き、国内においては円安も加わり、国民は大きな影響を受けています。

また、名誉町民であり、文化勲章授章者の森英恵先生がお亡くなりになり、参議院選挙最中の、安倍元首相銃殺事件も記憶に新しいことで、大変残念なことであります。

この混沌とした流れの終息を願うばかりです。

さて、当町は、充実した子育て

支援や、企業の皆様のご努力もあり、人口減少の波は小さいと言えますが、人口6000人を切った将来の町のあり様は、不安要素が多くあると言っても過言ではないでしょう。

問題は山積しています。

「地域医療の中心となる六日市病院」、「農林業、商業を中心とした地場産業」、「人口減少時代の行政・財政」のあり方は、全て町民の皆様の生活と福祉の向上に係わるものであり、この大きな「曲がり角」をうまく乗り越え、次の世代へと繋がないければなりません。

私達議会は、二元代表制の片方を担う議決機関として、自らを変え、議院改革をはじめとし、議員の使命を自覚し、町民の皆様への代表として町の政策を決定して参ります。

新年を迎え、心新たにし、町民の皆様にとって、令和五年が良き年となることを願い、年頭のご挨拶と致します。

令和五年 元旦

## 第4回 定例会

《令和4年12月2日～9日の8日間》

一般会計補正予算	1億1,373万円 (可決)
補正後予算総額	81億1,874万円



# 主な事業

## 庁舎維持管理費

- ▶議場の音響機器の更新及びドア設備の改修工事 1,043万円

## 電算管理費

- ▶マイナンバーカードを活用した申請書作成支援システム  
オンライン会議用システム導入 458万円

## 自立支援医療助成事業費

- ▶自立支援医療費（更生医療）対象者への医療費助成 1,013万円

## 地域医療対策費

- ▶公設民営化実現に向けた医療・介護統括管理者の設置  
及び弁護士相談経費 461万円

## 緊急中小企業者等事業継続支援金

- ▶新型コロナウイルス感染症拡大や原材料価格の高騰  
などの影響を受ける中小企業者等の事業継続を支援 1,200万円

## 中学校施設設備事業費

- ▶中学校特別教室の空調機械設置工事 5,983万円

## 主な質疑・討論

### 公設民営化に向けて

六日市病院の公設民営化に向けて益田赤字病院院長の木谷光博氏を医療・介護統括管理者に委嘱し、専門職として山本法律会計事務所の山本洋一郎氏と契約を結ぶことになりました。

しかし、先の見えない病院像に、多くの質問が出されました。

藤升議員

統括管理者が将来的には石州会の理事長に就くのか。

【医療対策課長】

町が関わることではない。石州会の理事会等で協議するものと認識している。

河村（由）議員

医療が必要なことは誰もが理解しているが、組織を作ればいいというものではない。

町が主体性を持って事を進めないと時間と金を浪費するばかりである。

【町長】

一日も早くというのは、誰もが望むところである。しかし、今の時代の流れに逆行する公設民営化には、時間と労力は必要である。

桜下議員

統括管理者には公設民営化についても指導・助言などを求めていくのか。

【医療対策課長】

地域の医療を守るためには、公設民営化の実現は町・石州会・県と共通の認識として共有している。当然、指導・助言は受けていく。

庭田議員

町には、医療や介護に高い見識を持ったアドバイザーがいる。なぜこの人を統括管理者にしなかったのか。

【町長】

益田圏域の医療構想を実現するためである。このことは、町・石州会・県も共有している。

### 職員の定年引き上げ制度

国家公務員の定年引き上げに伴い、地方公務員の定年を、60歳から65歳に引き上げるもの。

反対討論

桜下議員

定年制度延長の考え方に官民の差が大きく、まだまだ議論が必要だと考える。上程されてからの期間が短いため、町民の理解を得ることは難しいと思う。町民への説明が必要と考え、反対する。

賛成討論

庭田議員

人生100年時代を迎えた今日、60歳は働き盛りであり、各分野で人材不足も起こっている。

長期間、公務で磨いてきたスキルを生かし、活力ある町づくりをしてほしいと考え、賛成する。

◇賛成多数により可決

### 町長等の期末手当の引き上げ

藤升議員

令和5年度の予算編成では、補助金の1割カットが示されている中で、自らの期末手当を引き上げる条例を提案した理由は。

【町長】

人事院、人事委員会の勧告なので、制度は作らなければならない。

藤升議員

制度を作った後に引き下げを検討されているのか。

【町長】

今の時点でそのような準備はしていない。

反対討論

藤升議員

来年度の予算編成において、六日市病院の問題もあり、町民に対する補助金を1割カットすると示されている中で町長自らの期末手当の引き上げは、町民の理解を得られない

と考え、反対する。

◇賛成少数により否決

### 職員の給与の引き上げ

人事院勧告に伴い、一般職の初任給をはじめ、若年層の給料月額等を引き上げるもの。

反対討論

桜下議員

町民に、財政支援の犠牲を押し付けるのではなく、まず身を削る財政改革を示すべきである。補助金を1割カットする一方で職員の給与の引き上げは、到底町民の理解を得ることはできないと考え、反対する。

賛成討論

庭田議員

農林業や産業、観光など、町を豊かにするためには若い職員の力が必要になる。人は財産であり、豊かな町をつくる条件を整えるためにも、人に投資することは重要であると考え、賛成する。

賛成討論

藤升議員

この条例の改正の中に、若年層の給与の引き上げがある。新規採用された職員や、会計年度任用職員へのプラスの条件になると考えた場合、この条例の成立が望まれると考え、賛成する。

◇賛成多数により可決



# 全員協議会・臨時会

## ▶令和4年9月29日 全協(第9回)

六日市病院に対する財政支援を行うための来年度予算編成方針

- ：経営改善計画に相応する財政支援を行い病院の存続を図る
- ：病院と町で課題を克服し、持続可能な病院経営を行うため、アクション計画の作成を行う
- ：財政支援を行うための持続可能な町政運営

歳出に関する方針

- ：負担金・補助金・交付金について  
要求限度額は、昨年度比10%減を目標とする
- ：物件費について  
旅費・需用費・役務費・委託料・使用料・賃借料・備品購入費・交際費等についても要求限度額は、前年度以下を基準とする

## ▶令和4年10月7日 臨時会(第3回)

七日市共同調理場修繕 (404万円)

- ：天井の修理費

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 (6,000万円)

- ：住民税均等割非課税世帯等に、1世帯あたり5万円  
支給対象と申請

令和4年度世帯全員の住民税均等割り非課税

令和4年1月～12月の収入が減少し住民税非課税相当の収入になった世帯

## ▶令和4年11月2日臨時会(第4回)

台風14号による災害復旧関連経費

- ：災害復旧費、169カ所で、3億2,995万円

森英恵先生お別れ会

- ：昨年ご逝去された森英恵先生のお別れ会を1月22日に決定

## ▶令和4年11月24日 全協

第1期吉賀町総合戦略の評価について

旧六日市医療技術専門学校施設のあり方について

吉賀町地域医療確保対策について

- ：吉賀町医療・介護統括管理者の設置について
- ：公設民営化実現に向けた専門職の確保
- ：関係機関との連携強化について

職員の定年引き上げ制度について

議場改修について



『議決結果表』（議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない）

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第 4 回 定 例 会	議案第58号	吉賀町特用林産物集出荷施設の指定管理者の指定について
	議案第59号	吉賀町医療・介護統括管理者の設置に関する条例の制定について
	議案第60号	吉賀町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について
	議案第65号	令和4年度吉賀町水道事業会計補正予算（第1号）
	議案第66号	令和4年度吉賀町下水道事業会計補正予算（第2号）
	議案第67号	令和4年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	議案第68号	令和4年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第2号）
	議案第69号	令和4年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
	議案第70号	令和4年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算（第3号）
議案第71号	令和4年度吉賀町一般会計補正予算（第6号）	

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第 4 回 定 例 会	議案第61号	吉賀町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	議案第64号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	発議第6号	介護保険制度を介護する人・受ける人がともに大切にされる制度へ改善することを求める意見書(案)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
定第 例4 会回	議案第63号	吉賀町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●





次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 ( 歳代)

件名

Form area with horizontal dashed lines for writing.

折ってください

切り取り



### 介護職員不足について



大庭 澄人

#### 質問

介護に従事される職員が少なく、特にヘルパーのなり手がなく、制度そのものが怪しくなっているが、待遇面で大幅に改善できないか。

社協全体でも人員不足が生じている。何が問題で応募者がいないのか分析を行い、対策を講じる必要がある。

六日市病院が、今後病床を削減していく中で、患者がやむなく自宅で養生する人が増えると思う。

ますます介護職の重要性が増してくるがどのように考えているか。

#### 人材確保に努める

#### 町長

国より介護職員の処遇改善について指示があり、

対応している。

資格取得の際、時間的、金銭的な負担や、現場における身体的な負担等により、人が集まりにくい職種であるように認識している。

資格取得は、毎年実施するのは困難であり、定期的開催することで、介護人材の確保に努めていく。

人材が不足していることについては、担当課や社会福祉協議会と情報交換し、それぞれの立場でつき合わせて作業をしていく。



### 町独自の農業政策を



庭田 英明

#### 質問

農業の現状は高齢化、担い手不在など先の見通せない厳しいものである。

担い手の育成、企業の参入など、小さくても継続できる独自の農業政策を構築すべきである。

#### 農業は町の基幹産業

#### 町長

今年度策定する新しい農業振興計画の中に、新しく必要な事業はしっかりと組み込んで、実行に移していく。

#### 町づくりは人づくり

#### 質問

高齢化、人口減少社会を支えていくためには、行政・住民が一緒に

なって町づくりをする共創の理念が必要である。

課や職員の分散など、機構改革を進めるべきである。

#### 施策にそって

#### 町長

メリハリをつけた配置をする。

#### 共創の理念を

#### 再質問

地域再生推進法人が運営する旧六日市学園は、新しい町づくりの拠点となる。しっかりと関わるべきである。

#### まちづくり条例にそって

#### 町長

官民連携の象徴的な事業なので、しっかりと関わっていく。

### 町の森林整備計画について



河村 隆行

#### 質問

エネルギーの自給・環境資源の再評価など新たに検討する項目が、追加されたと思う。今の町有林も合併前のそれぞれの町村が、展開してきた事業である。

この資源を有効に利用し、次の世代に残すために、どのように取り組んでいくのか。

#### 森師研修員育成事業

#### 町長

この事業で、森林に関するあらゆる知識・技術を持ち合わせる人材を育成し、目的を達成したい。

#### 森林環境譲与税の使途は

#### 質問

地域おこし協力隊事業で、

森師事業を行っているが、この譲与税を活用した人材の育成や、植林・伐採等の計画をしてはいいかがか。

#### 活用について

#### 町長

再造林を進めたい。また航空レーザー測量の導入も検討したい。

#### 林業課の新設を

#### 質問

林業担当の新たな部署を、

#### 検討する

#### 町長

新設するか、また現在の産業課の中で、どのように機能を充実させるか、いろいろな角度から検討したい。

## 危険箇所改良復旧工事について



中田 元

**質問** 9月19日、台風14号により河川が氾濫し、河川農業施設、町道、林道計169箇所、改修予算3億2995万円の被害があった。

**早急に対応したい**

私は、当日六日市地区内の被害を雨の中現地を確認した。人命にもかかわる危険箇所と

**町長**

幸地川、立河内川は県の管理河川なので、他の被災箇所を含めて県に

早急な復旧工事の要望を行った。

岩が迫谷川は、建設課も確認しており早急に対策を講じる。

また本町栄町線は、水利組合と協議し1本新設も考えたい。

沢田の三山谷川は県と現地視察を含め協議を行っている。

広石地区は、県の事業で測量を行っている。

3. 沢田・広石地区両集会所付近の谷川も



## 食料生産と環境を守る生産者を守れ



藤升 正夫

**質問** 肥料、飼料の高騰が農業生産者の経営を圧迫している。

さらに、農協の令和4年産米の買取り単価は、1袋30kg当たりコシヒカリの上一等米で5700円となつてい

る。昨年に比べ上がったかに見えるが、追加措置分を含めると実質的には下がっている。

**情報収集し支援を考えたい**

国による肥料価格は高騰対策は、化学肥料使用量の低減に向けた取組を

農水省による中国地方の3年度米生産費は30kg当たりの生産費が9千円、機械代、肥料

代などの物財費だけで6千円を超え、これだけで既に赤字という計算になる。

それでも生産者は、害虫予防、雑草の侵入防止のため、1年に何回も草を刈り、農道や水路の整備など環境や

法を考えた。

景観を守り、農地と地域を守る多面的な役割も担っている。農業者、生産者がいるからこそ、食料が確保され守られている環境がある。

日々頑張っている生産者への支援を求める。

関係者、JA、生産団体と意見交換し、情報収集しながら支援方法を考えたい。

**町長**

今後の農業経営の安定のためにも、皆さんに取り組んでほしい。販売農家であれば全員が申請可能だと考えている。

関係者、JA、生産団体と意見交換し、情報収集しながら支援方法を考えたい。

関係者、JA、生産団体と意見交換し、情報収集しながら支援方法を考えたい。

関係者、JA、生産団体と意見交換し、情報収集しながら支援方法を考えたい。

## 高齢者の自立支援はいかにあるか



松蔭 茂

**質問** 人生100年時代と言われる、今後高齢者の人口割合が増える。体力、知力が衰え、若者との共生は大変なことになる。

しかし、多くの高齢者は自立し、お互いに支え合い、なるべく人に頼らないようにしようと思つている。

町長は、この高齢者の自立について、どのような支援を考えているか。今、問題の一つに移動手段がある。いつでも、どこへでも行ける手段、自動車運転免許の返納や、更新も難しくなる75歳以上の

**町長** 吉賀町で安心して健康に暮らし続けるために自立し、自らの力で移動できる環境整備が求められている。

町としてはまず既存の事業や制度を活用しながら、既に実施している自治体の状況や財源確保も視野に入れ、購入助成の制度設計等を検討していく。

シフト自転車や電動カー等の購入助成をしたらどうか。





## 身を削る行財政改革を



桜下 善博

### 質問

町は令和5年度の予算編成で、町民に対する補助金を一律、前年度比10%カットする方針を決め、一方で、12月議会に町長等のボーナス、職員の給与の引き上げ、公務員の65歳までの定年延長等、支給条例改正案を上程している。

### 行政サービスに努める

### 町長

六日市病院を残り、地域医療を守るために厳しい予算編成方針を決めた。病院の存続を理由にしているが、せざるを得ないことも理解して欲しい。

補助金の一律、前年度比10%カット分は、六日市病院存続のための財政支援を理由にしている。

町民に犠牲を押し付ける前に、まず身を削る行財政改革を行い、その上で町民にも痛みを理解してもらおうのが筋ではないか。

以前から町民に、職員が多すぎる、給与も県内平均よりかなり高いなど指摘されている。まず、身を削る行財政

## 町づくりの構想・対策は



三浦 浩明

### 質問

町づくり対策はいつの時代も最重要課題であり、将来に向け永久的に安定・継続的なものでなければならぬ。

### 町長

六日市学園等、町づくり対策においてマイン要素の事案が起きている。

現在、六日市病院の公設民営化について医療対策課を設置し、病院継続に向けての協議が行われているが、早期の対応・解決に至っていない。今後、このままの状況が続けば病院自体の存続も危ぶまれ、住民はもとより、各事業所において多大な悪影響を及ぼすのではないかと危惧する。

町民の不安や不信を招くことは許されず早

期の解決が必須であるが、進捗状況と今後の計画を聞く。

### 医療関係機関との連携で取り組む

### 町長

地域医療は、地域住民にとって必要不可欠なサービスであり、その火が消えることは住民の生活に極めて重大な影響を及ぼすことは十分認識している。

10月25日、石州会理事長と意見交換をし、当町の医療を守ること

で意見が一致した。益田圏域や県内の関係機関と実務者会議、

コアメンバー会議等を行い、病院を残す取り組みを進める。



## 病院公設民営化の速度を上げるべき



村上 定陽

### 質問

六日市病院の公設民営化にあたり、さまざまな問題・課題が山積している。

### 町長

昨年度末より地域医療・地方病院に対しての国の方針は大きく変わり、公立の不採算地区病院に対しても財政措置をする等、地域医療を守る方向性を打ち出している。

特に県主導で圏域での医療体制を確保するために県の責任を強化し、益田圏域においては民間ではあるが公的な役割も果たしている。その中に、六日市病院も圏域構想に組み込まれている。

公設民営化の申請を早急に行い、国や県からの財政支援も受けられるように努力し、併

せて、病院施設取得に關しても石州会側との交渉を始めていくべきではないか。

### 早期の実現が必要である

### 町長

公設民営化となれば、国に対してのアプローチが必要である。

施設取得に關して現段階では方針建てが出来ていないが、法的な部分も合わせ、弁護士等専門家からの助言を得ながら具体的に協議に着手していく。



## 学園跡地利用の進展は



河村 由美子

### 質問

議会は、計画を慎重に進めることを9対2で決議したが、町長は一部の住民の署名をもって、総合計画にある振興策を展開し町の発展に繋げるとした。

設立予定の地域再生推進法人の基本目標である仕事、人口増加等が達成されない場合、万一計画が頓挫したら町民に多額の負担が発生するのではないか。

### トップの決断

### 町長

議会は慎重ではあったが、物事を進めて行く中で、破綻した時のリカバリーはどうするかという事を考えてはできない。

### 脱炭素化の推進は

### 質問

津和野町のバイオマス発電所を視察しコスト、温室ガス排出抑制、材料供給等の研修の結果、当町も自主財源確保に水力、太陽、木材での事業展開を実施する考えは。

### 持続可能な事業

### 町長

持続可能な経済活動と環境保全の面からも必要な取り組みだと認識している。

しかし、当町は早急に対応しなければならぬ課題が山積している。その解決を急ぎ、成就した上で環境問題に時期を失うことが無いよう取り組む。

## 森林等自然環境の保全に向けて



桑原 三平

### 質問

町長は施政方針で、環境対策において、地域特性を生かしたエネルギー対策を推進して、負荷の少ない循環社会の構築を目指し、環境に特化した協議会を設立するとした。

### 町長

地域資源はバイオマスや水

### 町長

目標として、木質バイオマスストーブの設置を年10件、住宅用太陽光発電システム導入を年5件、可燃ゴミの排出量を1割減とする。小水力発電の可能性など拡充を検討する。

町長は施政方針で、環境対策において、地域特性を生かしたエネルギー対策を推進して、負荷の少ない循環社会の構築を目指し、環境に特化した協議会を設立するとした。

### 再質問

環境において森林が重要な役割を果たしている。風力発電等、環境破壊の可能性がある再生エネルギーは必要ない。

森林を資源として有効活用するため、総合的な条例整備が必要である。脱炭素の推進は。

吉賀町環境保全協議会を設置

### 町長

環境の問題なくして森林の問題は語れない。状況をしながら検討していく。

協議会を設置したので、協議を重ねていきたい。制度の導入については検討を続けたい。

## 発議

…(議員が提出した議案)

▼【発議第6号】  
介護保険制度を介護する人・受ける人がともに大切にされる制度へ改善することを求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

「理由」介護サービス利用者や介護従事者等が直面している困難の早急な打開と、経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を求めため。

◇賛成多数により可決

## 全国町村議長大会

11月9日、NHKホールで行われた全国町村議長大会上、安永議長が出席しました。

細田衆議院議長をはじめ、多くの来賓を迎え、地方議会が抱える多くの問題解決を要望する大会決議が採択されました。

終了後、外務省出身の、宮家邦彦氏の「最新の国際情勢と日本経済」についての特別講演が行われました。



## 鹿足郡議員研修会

10月11日、六日市基幹集落センターに於いて津和野町、吉賀町より23名の議員が出席し、講師に日本防災士会山口県支部、工藤美佐氏を迎え、「大切な命を守るために、災害支援活動を通して」を演題に、災害ボランティアとしての活動経験や、自助、共助、公助などについての講演を受けました。その後、両町議会の近況報告があり、主に議会活性化活動について、活発な意見交換が行われました。



## 島根県町村議会議員研修会

10月12日、松江市で議員研修会が開催されました。内容は、総務省統計局統計利用推進研究官、長藤洋明氏による「データの活用による地域の諸課題の解決」でした。

議員も統計学の必要性を強く感じました。また政治家アナリスト伊藤惇夫氏の「これからの政局の行方について」の講演で、議員になったら何をしたいかを改めて自覚する必要があると思われました。



## 議員研修（12月14日、鳥取県日野町）

当町と同様な社会環境の中で黒字経営をされている、鳥取県日野町にある日野病院へ、どのような取り組みを行っているか研修に行きました。

当日は日野町議会小谷議長、日野病院考田病院長から、黒字に至る経緯や説明を聞き、議員からは病院の安定経営、行政からの繰入金、医師・看護師等の要員確保対策、地域住民との繋がりがなど多くの質問が出され、地域医療を考える研修となりました。



日野病院での研修

## 議員研修（12月15日、鳥取県日南町）

吉賀町の山林はほとんど活用されていないため、鳥取県日南町の最先端の林業施策を研修に行きました。

出産祝いに木のオモチャ、小中学生には現場での木の教室、町内では現在木材団地3万㎡で地元産スギ、ヒノキをLVL材に加工・生産しているそうです。職員60名を雇用し、将来さらに拡張する計画とお話でした。

町が主体となり、民間と連携した経営は、有意義な研修でした。



木材団地



## 経済常任委員会現地視察

11月17日、経済常任委員会で、津和野町のバイオマスガス発電所と、幸地地内での森師の作業を視察しました。

バイオマスガス発電は、森林資源を有効活用でき、地域再生や活性化にもつながる事業だが、吉賀町でも同様の計画を実行するためには、十分な検討が必要だと感じました。



バイオマスガス発電についての研修



原木・チップヤード施設



活躍されている森師



作業道視察

幸地地内の町有林では、「壊れない作業道」を作るため、地域おこし協力隊の方が活躍されていました。森師の定住、自伐型林業を目指す工夫や取り組みが必要だと考えます。

## 編集後記

人との動物との違いは、火を使うことが出来たからだと言われる。昔から山の木や草を利用し炊事や暖をとる照明にも使われた。それにより自然の調和がとれて来た。

ヨーロッパによって起きた産業革命により化石燃料を使うようになり、自然のバランスが崩れて来た。炭酸ガスの量が増え、気候が変になり、温暖化による大型の台風や大量の雨が降るようになった。バランスを元にもどさなければならぬ。木や草を燃料にすることによって、炭酸ガスの排出量のバランスがうまく保たれるようになる。今からは木や草をエネルギー源とするべきである。

津和野町では木を利用した発電所が稼動を始めた。電気エネルギーは熱・光・動力等に変化出来る。今後は吉賀町も木を使った生活、発電所も作るべきである。

文責 松蔭 茂

## 表紙の写真



表紙のうさぎは、朝倉の吉村論さんと、立河内の村上智孝さん宅で可愛がられています。うさぎです。

ご協力ありがとうございました。